

令和3年度豊かなむらづくり全国表彰事業 東海農政局長賞の概要

特定非営利活動法人 ^{はらいがわ} 袂川環境美化推進協議会（三重県多気郡明和町）

～ 歴史ある袂川を次世代に引き継ぐ地域環境保全でむらづくり ～

1 むらづくりの動機、背景、経緯

三重県のほぼ中央に位置する明和町は、おおむね平坦で平野が多く、土地は肥沃で良質米の産地となっている。町の南部には旧伊勢街道が通り、伊勢神宮に奉仕した斎王の住んでいた斎宮あった場所として知られている。

町内を流れる袂川は、県内でも有数の自然と地域が共存した貴重な川であるとともに、歴史・文化とのかかわりをもった川でもある。また全国でも珍しい「自然護岸」の川であり、昔ながらの自然が生きており、生物多様性に富んでいる。

しかし、平成2年頃から不法投棄による粗大ごみの増加やタナゴ類の乱獲が問題化し、保全の声が高まったことから、水質浄化や環境保全に関する事業を行うため、地元住民により平成8年に「袂川環境美化推進協議会」が発足、活動を開始した。

平成16年に県・市・町が連携し「袂川環境保全協働ビジョン」を策定、住民・自治会・NPO・農業団体・研究者・行政機関の役割を明確化し、平成18年にはビジョンの合意形成と進行管理、情報共有の場として「袂川環境保全全体会議」が発足、協議会はその会員として清掃活動や倒木処理などに取り組み、定期的にシンポジウムを開催するなど、袂川の環境美化の普及啓発や活動に取り組んでいる。

2 むらづくりの内容

(1) 水質浄化作業の取組

水生植物（空心菜）の植栽による水質浄化や、その根により形成される「動物礁」による水質改善、排水口付近に炭入り袋を設置しての水質浄化を実施している。

また定期的に河川水質調査を行い、水質状況を確認している。



水生植物（空心菜）栽培による水質浄化

(2) 河川保全、修復、創造の取組

祓川は自然護岸のため倒木が起りやすく、倒木等が河川氾濫の原因や水質悪化の要因となるため、毎年倒木処理作業を行っている。

また、平成26年には、その倒木等を利用した全て手作りの自然体験場「自然体験の森」を整備・開園している。

(3) 地域住民との交流の取組

平成23年より協議会が整備を進めていた「自然体験の森」が開園するにあたり、オープン記念イベントを開催、地域住民約200名が参加し、祓川や協議会の活動を紹介したパネルやチラシを用いて、子供たちを中心に河川環境学習会を実施した。



自然体験の森での環境学習会

また、地元小学校の総合学習として、水生生物を使った水質調査を毎年実施しており、子どもたちの自然環境を学ぶ良い機会となっている。

(4) 農村景観の保全、創造の取組

河畔林への植栽や祓川の用水を利用している休耕田等に景観作物の植栽を実施している。

また、景観作物の植栽の際には、祓川流域に在住する親子や小学生を対象として、植栽体験も実施している。

3 今後の展開方向

祓川環境美化推進協議会は、設立以降、祓川の魅力を守っていくことが地域の暮らしを守っていくことにつながるとして、祓川の環境保全を中心に様々な取り組みを展開してきた。

今年度からは若手を中心とした活動に入る計画で、地域の環境を将来にわたって保全管理し、次世代に引き継いでいくことで、活動の継続を図っており、今後も取組の継続と発展が期待される。